

編集後記

★「人生100年時代」は来ない？ 平均寿命の伸び鈍化

アメリカ イリノイ大学 研究チームが発表

アメリカの科学誌ネイチャーエイジングは“人生100年時代到来”と言われ久しいが、日本を含む長寿国でこの30年 平均寿命の伸びが鈍化し、今世紀中に100歳まで生きる人の割合が女性で15%、男性で5%超はないとの予想を発表しました。「人生100年」を前提とした老後資金の見通しや保険の価値設定等が多くの場合、過大評価になると指摘。今後は老化を遅らせる画期的な技術が登場しない限り、急速な寿命延長は望めないとしている。

日本・韓国・スイスなど長寿9か国・地域の人口データを解析すると1990～2019年の約30年間で、寿命が平均6.5歳伸びたことが分かった。20世紀には衛生状態の改善や医学の進歩で幼児の死亡率が低下、中高年の健康が向上して10年に3歳のペースで寿命が伸びたが、最近30年はこの水準を下回っている。

世界各国の年齢別・男女別死亡率から最低値をかき集めた「理想的な長寿国家」の寿命を換算すると、19年生まれの女性で88.68歳、男性で83.17歳。100歳まで生きる確率は女性が13.9%、男性が4.5%となった。平均寿命が110歳の社会では、女性の70%が100歳まで生きる。唯、そのためには今ある死亡の原因のほとんどを克服しなければならない。厚労省によると日本の23年度の平均寿命は厚労省は日本人の23年度の平均寿命は女性87.14歳、男性81.09歳であった。

負うた子に 教えられるも 親心

老化とは 老いの進化と 言い聞かせ

令和6年 霜 降

サンエイ薬局の「健康メモ」

医薬品の自己負担の新たな仕組み

令和6年10月から医薬品の自己負担の新たな仕組みが始まりました。後発医薬品（ジェネリック医薬品、先発医薬品と有効成分が同じ）があるお薬で、**先発医薬品の処方希望される場合は、特別の料金**をお支払いいただきます。先発品と後発品の薬価の差額の4分の1相当を、特別の料金として、医療保険の患者負担と合わせてお支払いいただきます。ただし、医療上の必要があると認められる場合等は、特別の料金は要りません。**この機会に、後発医薬品の積極的な利用をお願いいたします。**



お薬や健康に関する様々な相談に応じます、お気軽にお立ちよりにください！

 **サンエイ薬局**

サンエイ薬局

検索

<http://sanei-pharmacy.com/>

本店 あさぎり病院北側

〒673-0852

明石市朝霧台1147-18

TEL 078-913-8585